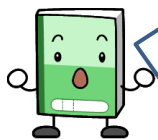


「指導と評価の一体化」のための学習評価（中学校美術科のポイント）



美術科では、内容について 目標に対応して、資質・能力を相互に関連させながら育成できるよう整理しています。具体的には、「知識」は、**〔共通事項〕**、「技能」は、「**A表現**」(2)の指導事項に位置付けられています。「思考力、判断力、表現力等」は、「**A表現**」(1)及び「**B鑑賞**」(1)の指導事項に位置付けられています。「学びに向かう力、人間性等」は、「**A表現**」、「**B鑑賞**」及び**〔共通事項〕**を指導する中で、**一体的、総合的に育てていくもの**として整理しています。

評価を行う際は、題材の目標、学習活動等に応じて「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の三つの観点の趣旨を生かしながら適切な「題材の評価規準」を設定することが大切です。

単元ではなく「**題材**」です。

単元（題材）名
花の命を感じて

内容のまとめ

第1学年「感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現」（「A表現」(1)ア(7)、(2)ア(7)、〔共通事項〕(1)アイ）及び「作品や美術文化などの鑑賞」（「B鑑賞」(1)ア(7)、〔共通事項〕(1)アイ）

1 題材の目標

(1) 「知識及び技能」に関する題材の目標

- ・形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、美しさや生命感などを全体のイメージで捉えることを理解する。（〔共通事項〕）
- ・水彩絵の具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表す。（「A表現」(2)）

(2) 「思考力、判断力、表現力等」に関する題材の目標

- ・花を見つめ感じ取った花や葉の形や色彩の特徴や美しさ、生命感などを基に主題を生み出し、画面全体と花や葉との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練る。（「A表現」(1)）
- ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げる。（「B鑑賞」(1)）

(3) 「学びに向かう力、人間性等」に関する題材の目標

- ・美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく花の美しさや生命感などを基に表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとする。

文末は「～ようとしている。」

2 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>知 形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、<u>美しさや生命感</u>などを全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p>技 <u>水彩絵の具の生かし方</u>などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。</p>	<p>発 <u>花を見つめ感じ取った花や葉の形や色彩の特徴や美しさ、生命感</u>などを基に主題を生み出し、<u>画面全体と花や葉との関係</u>などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。</p> <p>鑑 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。</p>	<p>態表 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく<u>花の美しさや生命感</u>などを基に<u>構想を練ったり、意図に応じて工夫して表したり</u>する学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく<u>造形的なよさや美しさ</u>を感じ取り、<u>作者の心情や表現の意図と工夫</u>などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

文末は「～ている。」

知＝「知識・技能」の知識、**技**＝「知識・技能」の技能、

発＝「思考・判断・表現」の発送や構想、**鑑**＝「思考・判断・表現」の鑑賞、

態表＝表現の「主体的に学習する態度」、**態鑑**＝鑑賞の「主体的に学習する態度」 の評価規準を表す。

※それぞれの評価規準は「内容のまとめりごとの評価規準」を、そのまま使用したり、具体的な学習活動を踏まえ言葉を省略や変更したりするなどしている（下線部は変更箇所）。

3 指導と評価の計画（7時間）

ねらい・学習活動	評価の観点と評価方法			評価方法・留意点
	知・技	思	態	
<p>1. 発想や構想（3時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●作者の心情や意図に応じた多様な表現について考える。 ・「花」をテーマにした作品を鑑賞し、作者の意図や表し方などについて意見を述べ合いながら、主題と表現の工夫との関係について考えとともに、形や色彩などが感情にもたらす効果や全体のイメージで捉えることを理解する。 ●主題を生み出す。 ・それぞれの生徒が鉢植えの植物を選び、その花を選んだ理由を考えてみたり、興味をもった花や葉の形や色彩の特徴などから感じたことや考えたことを言葉で書き表したりしながら、主題を生み出す。 ●主題を基に構想を練る。 ・生徒が生み出した主題を基に、画面全体と花や葉との関係を考え、創造的な構成を工夫し構想を練る。 	知		態表	<p><input type="checkbox"/>は、学習の改善や指導の改善につなげる留意点。</p> <p>知 形や色彩などの効果や全体のイメージで捉えることを理解しているかどうかを見取り、できていない生徒に対して具体例を示すなどの指導を行う。 【ワークシート、発言の内容】</p>
	知		態表	<p>態表 形や色彩などの効果や全体のイメージで捉えることを理解しようとしたり、主題と表現の工夫について考えようとしたりする意欲や態度を見取り、できていない生徒に対して主題の内容から作品を再度見つめさせるなどの指導を行う。【ワークシート、活動の様子】</p>
	発			<p>発 花を見つめ感じ取った花や葉の形や色彩の特徴や美しさ、生命感などを基に主題を生み出しているかを見取り、主題が生み出せていない生徒に花から感じ取ったことや考えたことなどを振り返らせるなどの手立てを講じる。【ワークシート】</p>
				<p>態表 主題を生み出そうとしていない生徒を見取り、花と自己との関係を考えさせるなどの指導を行う。 【ワークシート、活動の様子】</p>
				<p>発 構想がまとまらない生徒を中心に見取り、できていない生徒に対して、形や色彩などの効果と主題との関係について考えさせたり、主題に基づいた全体のイメージを捉えさせたりするなどして、指導を行う。 【アイデアスケッチ】</p>
				<p>態表 構想をしようとしていない生徒を見取り、生徒が選んだ花を再度見つめさせて、主題を改めて考えさせたり、形や色彩などが感情にもたらす効果や全体のイメージなどの造形的な視点に立って考えさせたりするなどの指導を行う。【アイデアスケッチ、活動の様子】</p>
			<p>発 ここでは生徒が、主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っているかどうかを</p>	

は、生徒の学習の改善や教師の指導の改善につなげる評価規準

第1時間目の後半から第2時間目

ゴシック体は、総括に用いる評価についての評価方法や留意点。

<p>□ は、総括に用いる評価として記録しておく。</p>		<p>発</p>	<p>態表</p>	<p>暫定的に評価し、第二次で再度評価を行う。 【ワークシート、アイデアスケッチ】 態表 楽しく発想や構想の活動に取り組み、形や色彩の効果や全体のイメージで捉えることを理解しようとし、生み出した主題をよりよく表すために心豊かに構想しようとする態度を評価する。【活動の様子】</p>
<p>2. 制作（3時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●水彩絵の具の表し方を身に付ける。 <ul style="list-style-type: none"> ・形や色彩などが感情にもたらす効果などを考えながら、水彩絵の具で、自己の構想に基づき、筆致を変えたり、絵の具の濃度などを変えたりするなど、様々な表し方を試す。 ●発想や構想を基に自分の表現意図に合う表現方法を工夫し表す。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の意図に応じて、水彩絵の具や筆などの使い方などを工夫し表す。また、制作の途中に鑑賞を行い、他者の作品を見たり自分の意図を説明したりすることにより、より表したいものを明確にしていくなどしながら作品を完成させる。 <p>それぞれの段階で「題材の評価規準」を位置づけ、学習のねらいが実現できていない生徒を見取り指導をし、一人一人の生徒が段階を追って確実に学習が行われるようにする。</p>	<p>制作前半</p> <p>技</p> <p>↓</p>		<p>態表</p> <p>↓</p>	<p>技 水彩絵の具の生かし方を身に付けられているかどうかや、様々な表し方を試して多様な表し方を身に付けているかどうかを見取り、できていない生徒には他の生徒の試作を紹介するなどして工夫について考えさせるような指導を行う。【試作の作品】</p> <p>態表 水彩絵の具の様々な表し方を意欲的に試しているなどの態度を見取り、できていない生徒に対して参考作品を見せるなどして表現の工夫などについての興味や関心を高めるような指導を行う。【施策の作品、活動の様子】</p>
	<p>制作中盤から完成まで</p> <p>発</p> <p>↓</p>		<p>態表</p>	<p>技 態表 発想や構想をしたことなどを基に、意図に応じて様々な表し方を試して身に付けた水彩絵の具の生かし方を活用し、工夫して表しているかどうかや、意欲的に工夫しているかなどの態度を見取り、実現できていない生徒に対して主題をもう一度見直させたり、表現の意図と水彩絵の具で試したことと関連させて再考させたりするなどの指導を行う。【制作途中の作品、活動の様子】</p> <p>発 配色などがまとまらない生徒を中心に見取り、指導を行う。【制作途中の作品】</p> <p>知・技 作品から水彩絵の具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表しているかなどを見取るとともに、形や色彩などの効果や全体のイメージで捉えることを理解しているかどうかを併せて見取り、知と技を知・技として一体的に評価する。 【作品、アイデアスケッチ、ワークシート等】</p> <p>発 主題の変化や配色計画などの構想を含めて、発想や構想を再度見取り評価する。【作品】</p> <p>態表 楽しく制作に取り組み、形や色彩の効果や全体のイメージで捉えることを理解しようとし、意図に応じて工夫して表そうとしている態度を評価する。 【完成作品、活動の様子】</p>
	<p>知・技</p>	<p>発</p>	<p>態表</p>	

<p>3. 鑑賞（1時間）</p> <p>●生徒作品や美術作品などから、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考え、見方や感じ方を広げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お互いの完成した作品を鑑賞し、作品から感じたことや考えたことを説明し合う。 ・第一次とは異なる「花」をテーマにした作家の作品を鑑賞し、作品の主題と表現の関係や、意図と工夫などについて自分の活動した体験から、新たな見方や感じ方を広げる。 	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">知 ↓</div> <div style="text-align: center;">鑑 ↓</div> <div style="text-align: center;">態鑑 ↓</div> </div> <div style="border: 2px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%; color: blue;"> <p>鑑賞活動においては、学習活動の観察を中心に鑑、態鑑の評価規準を、生徒の学習の改善や、教師の指導の改善につなげるために用いながら授業を行う。</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">態鑑</div>	<p>知 形や色彩などの効果や全体のイメージで捉えることを理解しているかどうかを見取り、できていない生徒に対して具体例を示すなどの指導を行う。【ワークシート、発言】</p> <p>鑑 態鑑 作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えることなどができているかどうかなどと、取り組む態度とをそれぞれ見取り、できていない生徒に対して主題から作品を見つめさせたり、作者の心情について考えさせたりするなどの指導を行う。【発言の内容、ワークシート、活動の様子】</p> <p>態鑑 楽しく作品を鑑賞し、形や色彩の効果や全体のイメージで捉えることを理解しようとし、造形的なよさや美しさを感じ取ろうとしたり、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えようとしていたりしているかどうかを評価する。【活動の様子】</p>
<p><授業外：題材が終了後></p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">知・技 ↓</div> <div style="text-align: center;">鑑 ↓</div> <div style="text-align: center;">発</div> </div>	<p>知・技 完成作品やワークシートなどから知・技の評価を再確認し、必要に応じて修正する。 【完成作品、アイデアスケッチ、鑑賞のワークシート】</p> <p>鑑 作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えて見方や感じ方を広げられているかをワークシートで見取り評価する。【鑑賞のワークシート】</p> <p>発 発想や構想について、主題や構想の工夫などを記述したワークシート等を完成作品と併せて再度見取り必要に応じて修正する。 【完成作品、アイデアスケッチ、鑑賞のワークシート】</p>

「知識・技能」の評価の総括

形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、美しさや生命感などの全体のイメージなどで捉えることを理解していることを評価する**知**の結果と水彩絵の具の活かし方などを身につけ、意図に応じて工夫して表しているかどうかを評価する**技**の結果を合わせて**知・技**として一体的に総括している。

「思考・判断・表現」の評価の総括

第一次及び第二次において評価した、**発**の実現状況の結果と第三次において評価した**鑑**の実現状況の結果とを合わせて総括している。その際、関連する学習時間の違いや表現に関する資質・能力に重点を置いた目標であることから**発**に重み付けをして総括している。

「主体的に学習に取り組む態度」の評価の総括

「表現」における態表と「鑑賞」における態鑑の場面で評価を行っているが、表現や鑑賞の活動を通してある程度継続的に実現していることが大切であると考えたことから、「表現」「鑑賞」における評価を同等に扱うことにしている。